

事業評価表（平成29年度（2年目）実績分）

事業名	経営発達支援計画	カテゴリ	支援力向上	担当者	中小企業診断士 西岡隆
事業期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	評価委員会実施日	開始	H29. 6. 8	最終
					H30. 2. 20

（1）事業計画（PLAN）及び実施（DO）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市商工会全ての職員が、経営発達支援計画の推進のため、外部研修の他に独自の勉強会や実際の企業実地調査を通じて、支援に必要な知識、考え方、手法等を習得する。 	活動・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業基盤整備機構と連携して事業計画作成ツールを活用した事業計画づくり勉強会を実施する。 ・ 専門家の指導の下でモデル企業に対するヒアリング、他実地調査の実施 ・ 全国連経営指導員web講習の受講 ・ dropboxを使って外部研修資料の共有化
------	--	-------	--

目的 小規模事業者の事業の持続化支援のために必要な知識、考え方、手法等を習得し飯塚市商工会職員全員の資質向上を図るとともに、組織としての支援力向上を目指す。

	指標の名称	単位・式	29年度	中間	最終
成果指標	・ 事業計画づくり勉強会の実施	回数	目標	1回	
			実績		未実施
			達成率		100%
	・ モデル企業の実地調査による調査手法の習得	件数	目標	4件	
			実績		1件予定
			達成率		75%
	・ 経営指導員web講習を活用した知識の習得 (企業経営理論 延べ15時間の受講)	受講時間	目標	15時間	
			実績		調査中
			達成率		100%
			目標		
			実績		
			達成率		
		目標			
		実績			
		達成率			

（2）事業費等の推移・内訳

財源内訳	予算額	決算額	摘要	特記事項
国庫補助金	0	0	なし	
一般財源	0	0		
合計	0	0		

（3）定性評価

事業分析 《担当者（チーム）評価》	
事業を取り巻く環境の変化	<p>(消費者ニーズ、国・県・市の動向など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まだ少数であるが、中長期的な事業経営に関する相談先として商工会が認知されるようになってきた。そのため、対応できるだけの知識の補充や経験が更に求められている。
事業の進捗状況	<p>判定 B A：計画通り進捗した B：概ね進捗した C：進捗しなかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月開催の事業計画性セミナーに職員も参加し、事業計画策定手法を確認した。 ・ 予定通りモデル企業事業を通じ、主にヒアリングを実践した。 ・ 中小企業診断士とともに、モデル企業に対する事業計画立案に携わった。 ・ 昨年に引き続き本年度は「企業経営理論」を全職員受講した。
事業の成果	<p>判定 B A：目的を達成した B：概ね達成した C：達成できなかった</p> <p>(その根拠、理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ O f f - J Tに関しては、ほぼ全職員取り組めたが、O n - J Tに関しては、経営指導員のみ参加になってしまった。

(4) 評価 (CHECK)

評価項目	評価の観点	評価	事業分析《一次(中間)評価》
①妥当性	商工会が事業として行う必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	商工会職員として必要なスキルの向上である。
	特定の事業者に受益が偏っていないか	<input type="checkbox"/> 偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 偏っていない	一部に偏るものではない。
	地域商業の復興と持続化という目的に対する手段として適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	スキル向上が事業者支援に資するため重要である。
②有効性	目的とおお期待される成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 得られなかった	一部未達成の事業もあるが概ね良好である。
	地域商業の復興と持続化という目的に対し貢献できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった	スキル向上が事業者支援に資するため重要である。
	次年度以降もこの事業の継続は必要あるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	事業者支援のため必要である。
③効率性	利便性の向上や省力化を図る余地はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	
	事業のコストは適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	費用は発生していない。
	類似事業や関連事業等、他に代わる事業はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	

事業分析 《二次(最終)評価》

事業結果に対する総評	(進捗状況・事業成果等に対する総評) OJT、Off-JTを通じて、経営全般を見通せる眼を養うことは支援上重要である。
方向性の判断	(理由：事業の優先・重点化の必要性など) 今後さらに支援力向上を図ることが有意義な個者支援に繋がる。

(5) 改善・改革 (ACTION)

事業の方向性	判定	A：継続	B：変更継続	C：休止	D：廃止	E：終了
事業の課題	判定 B					
今後の取組／見直し案(活動・手法等)	(上記の「事業の課題」に対する改善策又は事業の今後の方策等) 具体的には、ヒヤリング能力の向上が最優先と思われる。					
その他						